

小学校だより

音を創り上げていく楽しさ

校長 相川 保敏

私は、二学期に子どもたちが最も輝いて見えた行事は「学習発表会」だと思っています。学習発表会の主役は子どもたちですが、子どもたちが輝くように支えているのが、保護者の皆様や学年の先生とともに、音楽の授業を担当されている専科の講師の方々です。

□□ナ禍の中で、子どもたちは大きな声で話したり、歌ったりすることはよくないことだと認識した経験やマスク生活によって、大きな口を開けて歌うことができなくなってしまった子がたくさんいました。しかし、学習発表会本番での子どもたちの歌声はいかがだったでしょうか。かわいくて元気な歌声、美しい伸びやかな歌声だったと思います。



▲牧島美奈子先生、橋本千波先生、堀尾裕子先生

「こうした歌声は、日々の音楽の授業の賜物ではないかと思えます。そこで、三名の先生方に音楽の授業で大切にされていること、学習発表会でのかかわり、そして本校の子どもたちの印象についてお聞きしました。

Q 学習発表会ではどのような支援をされましたか？

橋本先生「四・六年生担当」 四年生、六年生とも、学年の先生方と相談しながら、演目の決定、曲決め、台本の作成をしました。特に、四年生の「ユタ」と不思議な仲間たち」は、「友達はいもんだ」以外の曲の楽譜が出版されていないため、他の六曲を音源から音を取って楽譜を作成しました。その後、各クラスで音楽の練習を行いました。六年生の「サウンド・オブ・ミュージック」は、限られた時間内で曲を入れたつ、ストーリーを成り立たせていくことに苦勞しましたが、いかがだったでしょうか。

いたため、他の六曲を音源から音を取って楽譜を作成しました。その後、各クラスで音楽の練習を行いました。六年生の「サウンド・オブ・ミュージック」は、限られた時間内で曲を入れたつ、ストーリーを成り立たせていくことに苦勞しましたが、いかがだったでしょうか。

牧島先生「一・五年生担当」 一年生の「不思議の国のアリス」の歌唱指導では、子どもたちの持ち前の元気さと可愛らしさを大切にしつつ、自然で無理のない歌唱表現ができるよう発声の基礎から指導しました。元々歌がなかった場面に歌をつけたときは、子どもたちからもらったアイデアを歌詞に盛り込むことで、自分たちで作った喜びが全開となる場面が完成しました。五年生の「Where the World」は、初めは英語詞に不安がある子どもが多かったですが、歌詞の意味や背景を知り、どんなことを大切に伝えるべきか意見を出し合う場を何度も設ける内に全員が歌えるようになりました。

堀尾先生「二・三年生担当」 二年生では劇に合わせた音楽のサポートや歌の伴奏を行いました。子どもたちから「ドシン」と倒れる音が欲しいとか、登場する時に「マツケンサンバ」や「ポニョ」の曲を弾いて欲しいなど、子どもたちからの要望も取り入れていきました。一緒に工夫して、歌や劇を創り上げていくことが楽しかったです。三年生では三曲の英語の歌に取り組み、音楽のサポートや伴奏を行いました。英語の発音練習からとても魅力的な子が多く、メロディーに乗せて堂々と歌えるように指導していきました。私の英語での歌唱を録音し聞いてもらい、どうやって歌っていくと英語らしさが出るのかをみんなで練習しました。

Q 普段の音楽の授業で大切にされていることは何ですか？

橋本先生「心の開放」を目指しています。息を吸って、息をはく、息を呑む、息を止める、息を引き取る…など「息」は人の人生や喜怒哀楽の中でも大切なものです。自分の心と書いて「息」、その息に音をのせると歌になります。「歌う」の語源が「訴える」という説もありますが、自分でも気づかない自分の中の言葉に出来ないものが、音の中だと感じられる瞬間があると思います。九十人で息を合わせて一つの音楽を創る中で、一人でも二人でも心が自由になる高揚感、心地よさを感じてもらえたら嬉しいです。

をばく、息を呑む、息を止める、息を引き取る…など「息」は人の人生や喜怒哀楽の中でも大切なものです。自分の心と書いて「息」、その息に音をのせると歌になります。「歌う」の語源が「訴える」という説もありますが、自分でも気づかない自分の中の言葉に出来ないものが、音の中だと感じられる瞬間があると思います。九十人で息を合わせて一つの音楽を創る中で、一人でも二人でも心が自由になる高揚感、心地よさを感じてもらえたら嬉しいです。

牧島先生「子どもたちと一緒に音楽を「楽しむ」と友達との歌や演奏に意識して耳を傾け、音楽を通してお互いを認め合いながら、協働して作り上げる喜びを得られる体験を大切にしています。

堀尾先生「みんなで歌ったり演奏したりすることの楽しさを、実感させることを大切にしています。音楽室では、二コソ顔で、コソコソ練習することを伝えていきます。

Q 桐山小学校の子どもたちの印象は？

橋本先生「本当に明るく素直です。思ったことをまっすぐに言葉にできる子、表情や体で表現できる子、できるか分からなくても何にでも前向きに挑戦する子、上手になりたいと頑張る子、表現することが苦手でも空間を心の中で感じている子…、本当にいろんな友達氣息を合わせて音楽の中で一緒に喜んだり楽しんだりしている姿を見ると、いつも温かい気持ちになります。

牧島先生「素直で優しくみんな音楽が大好きです。難しいことにも意欲を持って取り組みできるようにしていく過程を楽しみながら完成させていける子がたくさんいます。

堀尾先生「音楽の好きな子が多いです。歌やキーボード、リコーダーも上達が早いので、仕上がりが良くなるのがいつも楽しみです。

橋本先生は平成三十年年度から、牧島先生は昨年度から、堀尾先生は本年度から本校に勤務していただいています。どの先生も、子どもたちの主体性を大切にしながら、音楽の授業をされていることが分かります。来年度の名フィルとの共演も本当に楽しみます。

特集

学習発表会

P.2
P.3

委員会報告……………P.4

学期の行事……………P.5

学年トピックス……………P.6
P.17

PTA……………P.18
P.19

二期の思い出……………P.20